

# なぜ、アメリカの大学入学選抜は 日本の入試改革のモデルになり得ないか

荒井 克弘 氏 (東北大学 名誉教授/大学入試センター 名誉教授)

**講演概要** 高大接続という観点からみれば、アメリカほど実現のむずかしい国はない。高等学校には全米に通用する標準教育課程もなく、教育課程も教育内容も州、学区ごとに異なる。無論、共通学力試験など及ぶべくもない。にもかかわらず、日本はそのアメリカの制度を理想的な制度と崇め、ときに中教審の一節にも紹介した。なぜなのか？ 日米の比較は“高大接続”を考えるきっかけを与え、それはまた、今次の高大接続改革を読み解く鍵にもなるやもしれない。

本セミナーはZOOMによるオンラインで開催します。オンライン参加が可能であることをご確認の上でお申し込みください。

オンライン参加の要件等

- ・カメラ・マイクが利用可能で、高速なインターネットに接続された PC 等が用意できること。
- ・発言等ができる静穏な環境で参加できること。

2020年11月5日(木) 15:00-17:00

申込方法：下記セミナー参加申込フォームから必要事項をご記入ください。その際にご入力頂いたメールアドレスの返信をもちまして、申込完了となります。  
<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/form/>

定員：90名(申込締切 10月22日)

参加方法：後日参加申込された方にお知らせします。

○いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

お問合せ先：info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-3534 (セミナー専用)